

平成 20 年度第 3 回東アジア海文明セミナー
国際学術シンポジウム

リモートセンシングと 東アジアの環境史の可能性

日時：2008 年 12 月 13 日（土） 9:30 開場 10:00 開始

会場：学習院大学 西 2 号館 501 教室（JR 山手線目白駅下車徒歩 1 分）

※入場無料・事前申し込み不要

主催：日本学術振興会アジア研究教育拠点事業「東アジア海文明の歴史と環境」
（学習院大学〔日本〕慶北大学校〔韓国〕復旦大学〔中国〕）



共催：学習院大学東洋文化研究所

「東アジア前近代における文化交流の展開」プロジェクト

<開会> 10:00 -

鶴間和幸（学習院大学文学部教授）

「東アジア海文明の歴史と環境・2008 年度の活動」

村松弘一（学習院大学東洋文化研究所准教授）

「セミナー趣旨説明」

<第一部 基調講演> 10:30 - 12:00

満志敏（復旦大学歴史地理研究中心教授）

「多源データ支持下の黄河京東故道研究」

<第二部 衛星データと環境史> 13:00 - 16:00

相馬秀廣（奈良女子大学文学部教授）

「高解像度衛星画像からさぐるシルクロードにおける土地利用の変化

—中国乾燥地域の灌漑水路・耕地・囲郭などの遺跡を例として—」

陳 力（阪南大学国際コミュニケーション学部教授）

「陵墓・用水路・村落と都市—CORONA 衛星写真からみた漢長安移民世界の残像」

長谷川順二（学習院大学文学部 PD 共同研究員）

「前漢期黄河故河道の復元—河北省東光県～滄州市～黄驊市～渤海—」

<コメント> 16:15 - 16:45

黄曉芬（東亜大学客員教授）

惠多谷雅弘（東海大学情報技術センター研究員）

<討論> 17:00 - 18:00

画像処理：東海大学情報技術センター (c)2008TRIC
データ：NOAA/NGDC